

第1 目的

農業改良普及センター（以下「普及センター」という。）は、「普及指導計画の策定及び普及指導活動の実施と評価に関する要領」（以下「要領」という。）の第4の1に基づき、内部評価を毎年実施するが、普及指導課題の選定、普及センターの活動体制、普及指導計画を総合的に評価し、次年度の計画や活動体制の参考に資するため、要領の第4の4に基づき、有識者や流通関係者、農業者等外部の方々による外部評価を併せて実施する。

第2 実施概要

1 評価対象

全普及センター

2 外部評価委員

各普及センターが、表1（次項）のとおり農業者や外部有識者等を外部評価委員として委嘱した。

3 評価の実施方法等

(1) 評価方法

各普及センターが、外部評価委員に普及指導計画、内部評価、地域農業の概要が分かる資料等を事前に提出したうえで、外部評価委員会を開催し評価を受けた。

(2) 評価項目

①普及指導方針、活動計画に対する事項

②普及活動課題別評価に対する事項

普及活動課題別評価表（要領第4の2に規定する様式第3号）のうち、3～5課題を選定する。本年度評価を実施した課題の分類は以下のとおり。

作物類 (米・麦・大豆)	野菜	花き	果樹	畜産	新規就農者 担い手育成	集落営農 (組織育成)	アグリビジネス 6次産業化	その他	合計 (課題数)
5	3	3	4	5	5	5	5	2	37

③プロセス改善計画に対する事項

④全体に関する事項

(3) 評価の視点

到達目標の数的な達成状況の評価のみならず、結果にいたるまでのプロセス（計画策定過程、活動実施過程、活動結果）について、総合的に評価する。

①普及活動課題別評価表（要領第4の2に規定する様式第3号）

○計画策定過程

現状やニーズ把握、解決のための戦術、目標設定は適切か。

○活動実施過程

普及センターの活動体制、関係機関等との役割分担、活動方法は適切か。

○活動結果

普及活動の結果、支援対象者や地域の考え、行動はどう変わったのか。到達目標に対する実績はどう上がったのか。

②普及指導の改善とマネジメント計画（要領第4の2に規定する様式第4号）

課題ごとに1～2年間の短期的評価と長期的な視点で捉えた場合の評価、そのギャップを改善するための改善策に対する視点、考察は適切か。

表1 平成25年度普及活動外部評価委員一覧

評価した普及センター	氏名	所属及び職名	区分
中央農業改良普及センター 県域普及グループ	戸来 昭男	普及員OB、NP0法人アグリサポートネット会員	外部有識者(大学関係者等)
	関野 幸二	(独)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター生産基盤領域 上席研究員	外部有識者(大学関係者等)
	高橋 信	岩手県農業農村指導士、岩手県農業農村指導士協会副会長、岩手県直播栽培米研究会長	農業者
	岩渕 壽子	岩手県農業農村指導士、岩手県農業農村指導士協会副会長	農業者
	岩渕 幸一	岩手県青年農業士、岩手県農業農村指導士協会青年農業士部会副部長	農業者
中央農業改良普及センター 地域普及グループ	役重 眞喜子	元花巻市総務課長	外部有識者(大学関係者等)
	小原 卓志	花巻農業協同組合営農推進部長	農業団体
	高橋 明	岩手県農業農村指導士、岩手県農業農村指導士協会会長	農業者
	下瀬川 正真	北上市認定農業者協議会会長	農業者
	菊池 正明	遠野市花き研究会会長	農業者
盛岡農業改良普及センター	吉野 英岐	岩手県立大学総合政策部教授	外部有識者(大学関係者等)
	長澤 由美子	岩手県産株株式会社 営業部販売推進課商品開発室長	その他(流通関係者等)
	高橋 淳	岩手県農業農村指導士	農業者
	高橋 静男	岩手県農業農村指導士	農業者
	石川 正樹	岩手県農業農村指導士	農業者
八幡平農業改良普及センター	吉野 英岐	岩手県立大学総合政策部教授	外部有識者(大学関係者等)
	古川 純子	岩手県農業農村指導士	農業者
	村澤 欣一	岩手県農業農村指導士、葛巻町農業委員	農業者
	高村 亮一	岩手県農業農村指導士	農業者
	山中 博喜	岩手県青年農業士	農業者
奥州農業改良普及センター	菊池 義孝	岩手ふるさと農業協同組合営農経済グループ統括	農業団体
	高橋 裕彰	岩手県農業農村指導士、胆江地方農業農村指導士会前会長	農業者
	紺野 啓	岩手県農業農村指導士、岩手県りんご協会会長	農業者
	伊藤 周治	奥州市認定農業者連絡協議会会長	農業者
	星 洋子	(株)産直いさわ代表取締役	農業者
一関農業改良普及センター	小山 麗子	東磐井地方「食の匠」連絡会会長	農業者
	阿部 信夫	有限会社ドリファー花泉代表取締役	農業者
	小野 正一	農事組合法人アグリパーク舞川専務理事	農業者
	千葉 栄一	いわい東農協花き部会会長	農業者
大船渡農業改良普及センター	飯塚 郁子	いわて生活協同組合監事	消費者
	兼澤 平也	J Aいわて花巻理事	農業団体
	佐藤 信一	岩手県農業農村指導士、沿岸南部農業農村指導士会会長	農業者
	佐々木 重吾	岩手県農業農村指導士、沿岸南部農業農村指導士会副会長	農業者
	古内 嘉博	岩手県農業農村指導士、J Aおおふなとピーマン生産部会部会長	農業者
宮古農業改良普及センター	滝沢 和博	新岩手農業協同組合営農経済部長	農業団体
	佐々木 建彦	山田町土地改良区事務局長	農業団体
	山崎 安人	岩手県農業農村指導士、岩手県果樹協会副会長	農業者
	合砂 哲夫	岩泉町農業委員会会長、安家肉用牛生産組合長	農業者
久慈農業改良普及センター	新田 義修	岩手県立大学 准教授	外部有識者(大学関係者等)
	外館 則男	(株)のだむら支配人、元野田村産業振興課長	外部有識者(大学関係者等)
	北村 喜美雄	岩手県農業農村指導士	農業者
	西 君治	岩手県青年農業士	農業者
	中田 勇司	特定非営利活動法人 カシオペア市民情報ネットワーク副理事長	外部有識者(大学関係者等)
二戸農業改良普及センター	滝谷 博	株式会社九戸村ふるさと振興公社支配人	外部有識者(大学関係者等)
	中里 照夫	岩手県農業農村指導士	農業者
	安藤 直美	農業委員	農業者

表2 各農業改良普及センターにおける外部評価の実施状況

農業改良普及センター名 及び実施日	評価事項
中央農業改良普及センター 県域普及グループ 平成26年2月14日	1 普及指導方針、活動計画に対する事項 2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 集落営農組織の経営高度化の促進 (2) 水田大豆・麦の安定生産技術体系の組立と普及 (3) りんどう、小ぎくを主体とした花き産地の強化 (4) 省力的・低コスト自給飼料生産体系の確立 3 プロセス改善計画に対する事項 4 活動全体に対する事項 【※1、3、4は全普及センター共通項目のため、以下記載を省略する】
中央農業改良普及センター 地域普及グループ 平成26年2月18日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 地域農業の担い手育成 (2) 水田農業の構造改革 (3) アグリビジネスの推進 (4) 土地利用型作物の低コスト生産体系 (5) 野菜産地の育成 (6) 集落営農組織の育成 (7) 畜産経営体の経営確立 (8) 主要品目の生産強化
盛岡農業改良普及センター 平成26年3月4日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 地域を牽引する担い手の確保育成（新規就農者の確保育成） (2) 花き産地力の強化 (3) 米、麦、大豆経営の強化
八幡平農業改良普及センター 平成26年2月10日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) キャベツ産地力強化の支援 (2) 地域特産果樹の安定生産 (3) 和牛繁殖経営体の育成支援、飼料基盤に立脚した粗飼料の安定確保 (4) 地域特性を生かした6次産業化支援、食文化の伝承と地産地消活動支援
奥州農業改良普及センター 平成26年2月21日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 果樹産地力の強化 (2) 新規就農者の確保・育成
一関農業改良普及センター 平成26年2月18日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 体質の強い水田経営体の育成 (2) 体質の強い花き産地構造の構築 (3) マーケットインの視点に立った農業・農村ビジネスの促進
大船渡農業改良普及センター 平成26年2月18日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 低コスト生産技術の確立（水稻） (2) 収益性向上に向けた栽培技術対策（ピーマン） (3) 女性組織の育成支援 (4) 「北限のゆず」による地域復興（復興）
宮古農業改良普及センター 平成26年2月20日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 生産者組織の育成・活動支援 (2) 地域特産果樹産地づくり (3) 自給肥料を活用した低コスト畜産経営の推進～肉用牛繁殖頭数拡大～
久慈農業改良普及センター 平成26年2月25日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 地域を担う経営体の育成 (2) 収益性の高い水田利用推進 (3) 自給粗飼料等の生産改善による生乳・子牛の低コスト安定生産の推進 (4) 食文化伝承と農村の魅力発信による農村活性化
二戸農業改良普及センター 平成26年2月17日	2 普及活動課題別評価に対する事項 (1) 認定就農者の確保・育成 (2) 地域特性を生かした果樹産地づくり